

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名								授業時間数			
D101	デザイン発想理論・演習								30			
担当教員	杉山 晶				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	婦人服アパレルのニットデザイナー職を経てフリーランスデザイナーとして大手セレクトショップの企画デザインなど様々なデザイン業務に従事。イタリアのファッションスクールに留学し、訪米のデザイン発想の研究手法を学ぶ。授業では、既存のデザイナーのデザイン発想を研究。様々な視点でリサーチし、クリエイティブなコレクションデザイン表現につなげている。										
講義目的												
デザイン発想の基礎となる考え方、リサーチの手法、リサーチの落とし込みを学ぶ。												
授業内容												
自分の内に秘める事柄をキーワードとして、デザイン発想の基となるものを導き出す。 リサーチの手法を学び(服の歴史、ART作品、など...)様々なアイデアと結びつけクリエイティブなデザインを実践します。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	デザインの手法説明					ブレインストーミングの練習					
2	2	デザイン発想 1					イメージ資料の収集とチェック					
3	2	デザイン発想 2					イメージ資料のスケッチ					
4	2	デザイン発想 3					インスピレーションミュージズのリサーチと研究					
5	2	デザイン発想 4					コラージュ実験とイラストレーションミックス					
6	2	デザイン発想 5					シルエット開発とプロポーショナル決定					
7	2	デザイン発想 6					アートリサーチの手法					
8	2	デザイン発想 7					アート作品の落とし込み手法					
9	2	デザイン発想 8					テクニクリサーチの手法					
10	2	デザイン発想 9					テクニックの落とし込み					
11	2	デザイン発想 10					シャツのデザイン実験					
12	2	デザイン発想 11					シャツのディテール落とし込みとコラージュなど					
13	2	デザイン発想 12					シャツのデザイン展開					
14	2	デザイン発想 13					シャツデザイン決定 フォーマット記入					
15	2	デザイン発想 14					テクニックスタイリングの見直し					
留意事項												
自分自身の発想に必要なアイデアをたくさんの事柄からセレクトしデザインへ落とし込む為、何事にも興味を持って普段から過ごすこと。												
教材												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
発想デザインのプロセスについて順を追って学び、進級後に自ら応用できる力を身につける。				リサーチの重要性を学びデザインへ落とし込む。ドローイングを重ねて自らデザインできる力を自然に身につける。				取組姿勢		25%		
								提出物		25%		
								習熟度(到達目標に対して)		50%		

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
D101	コンセプトデザイン I							30				
担当教員	杉山 晶				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	婦人服アパレルのニットデザイナー職を経てフリーランスデザイナーとして大手セレクトショップの企画デザインなど様々なデザイン業務に従事。イタリアのファッションスクールに留学し、訪米のデザイン発想の研究手法を学ぶ。授業では、既存のデザイナーのデザイン発想を研究。様々な視点でリサーチし、クリエイティブなコレクションデザイン表現につなげている。										
講義目的												
デザイン発想の基礎となる考え方、リサーチの手法、リサーチの落とし込みを学ぶ。												
授業内容												
自分の内に秘める事柄をキーワードとして、デザイン発想の基となるものを導き出す。リサーチの手法を学び(服の歴史、ART作品、など...)様々なアイデアと結びつけクリエイティブなデザインを実践します。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	コンセプトデザイン 1					デザインアイデアとミューズをまとめコンセプトの組み直しをして世界観をまとめる。					
2	2	コンセプトデザイン 2					コレクションテクニックドローイング・テクニック実験/テキスタイル集め					
3	2	コンセプトデザイン 3					デザインワンピースとしてデザイン 決定したテクニックでデザイン展開					
4	2	コンセプトデザイン 4					デザインワンピースの具体化					
5	2	コンセプトデザイン 5					現代女性のミューズとムードのリサーチ・ファッションイラストレーションイメージ					
6	2	コンセプトデザイン 6					ファッションイラストレーション完成					
7	2	コンセプトデザイン 7					機能性とディティールのリサーチ コレクション図案考案					
8	2	コンセプトデザイン 8					トレンドリサーチ コレクションスタイリングの構成					
9	2	コンセプトデザイン 9					アイテム展開 120アイテム					
10	2	コンセプトデザイン 10					アイテム出しの作業					
11	2	コンセプトデザイン 11					コレクションを様々なシーンを想定してスタイリング					
12	2	コンセプトデザイン 12					スタイリングよりコレクションを想定してスタイリングの絞り込み					
13	2	コンセプトデザイン 13					ファッションイラストレーションにてコレクションをドローイング					
14	2	コンセプトデザイン 14					ポートフォリオの制作説明					
15	2	コンセプトデザイン 15					ポートフォリオ制作の実践					
留意事項												
自分自身の発想に必要なアイデアをたくさんの事柄からセレクトしデザインへと落とし込み、コレクションとして様々なデザイン展開をする。												
教材												
最終到達目標												
学習法												
評価方法及び評価割合												
発想デザインのプロセスについて順を追って学び、進級後に自ら応用できる力を身につける。		リサーチの重要性を学びデザインへ落とし込む。ドローイングを重ねて自らデザインできる力を自然に身につける。					取組姿勢			25%		
							提出物			25%		
							習熟度(到達目標に対して)			50%		

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
D103	ファッションドローイング							30				
担当教員	山田 紗世				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○				芸術短期大学版画専攻出身。現在フリーランスとして芸術活動中。主に百貨店、アートフェア、個展で平面作品を発表している。							
講義目的												
美術の視点を加えてファッションドローイングの基礎となる人体の描き方や、素材の表現方法を学ぶ。												
授業内容												
人体の構造を理解し、平面に落とし込んで描画する方法を学ぶ。その為にモデルを観察し、特徴を捉えて短時間で描く方法をクロッキーによって学ぶ。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	授業説明・クロッキー					実際のモデルを前にして描く①					
2	1	基本プロポーション					正面を描く					
3	1	ポーズバリエーション①					顔、手、腕、脚を描く					
	1						実際のモデルを前にして描く②					
4	1	ドローイング①					資料の模写①					
5	1	ポーズバリエーション②					サイド、バックを描く					
	1						様々なポージングを描く					
6	1	ドローイング②					衿、袖、服の細部の描く					
7	1	シワのはいり方					服のシワを描く					
8	1	ハンガーイラストの基礎					ハンガーイラストを描く①					
	1						ハンガーイラストを描く②					
9	1	クロッキー					実際のモデルを前にして描く③					
10	1	ドローイング②					資料の模写②					
11	2	まとめ					時間内で表現したいものを書いてみる					
留意事項												
繰り返し練習する事が上達の必須条件であり、授業時間外の取り組みも重要である。欠席した場合は、次回授業までに課題を終わらせておく事。												
教材												
なし												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
洋服に合わせた人体の動きを考慮し、いろいろなポーズのバリエーションを表現する事が出来る。				用具使用法 描画方法 説明と実践				提出課題		100		

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
D103	ファッションドローイング							30				
担当教員	山田 紗世				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目		○	芸術短期大学版画専攻出身。現在フリーランスとして芸術活動中。主に百貨店、アートフェア、個展で平面作品を発表している。									
講義目的												
様々な着色方法、素材表現を学ぶ。												
全身の着装のバリエーションを増やし、それに合った着色方法（カラーマーカー、デザイナーズカラー、色鉛筆等）を学ぶ。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	授業説明・ドローイング					テーマに添ったデザイン画の作成と着色					
2	1	カラーマーカー					カラーマーカーの特長を知る					
	1						光と影の練習					
	1						柄の練習					
	1						全身着色で仕上げる					
3	1	デザイナーズカラー（水彩画）					水彩画の特長を知る					
	1						光と影の練習					
	1						全身着色で仕上げる					
4	1	デザイナーズカラー（ベタ塗）					ベタ塗の特長を知る、光と影の練習					
	1						全身着色で仕上げる					
5	1	画材を新たに見つける					本来画材では無いもので描く					
	1						全身着色で仕上げる					
6	1	クロッキー					実際のモデルを前にして描く					
7	2	まとめ					時間内で表現したいものを描いてみる					
留意事項												
繰り返し練習する事が上達の必須条件であり、授業時間外の取り組みも重要である。欠席した場合は、次回授業までに課題を終わらせておく事。												
教材												
なし												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
画材の特徴と幅広い可能性を学び、洋服に合わせた描画力を身につける事が出来る。				用具使用法 描画方法 説明と実践				提出課題		100		

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名								授業時間数			
D104	パターン理論・プロダクト演習 I								90			
担当教員	上等 峰子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手デザイナーブランド専属パタンナーとしてトワールチェック、仕様書作成、サンプルチェック等に幅広く携わり、東京コレクションで新ブランドの立ち上げに参加。授業では、パターンメイキングの基礎を基に、各アイテムのシルエット展開やディテールパターンの操作法をパターンメイキングからトワールの組み立てを繰り返しながら学ぶ。並行してドレーピング手法も習得する。										
講義目的												
ブランド・企業の現場で通用する、ベーシックなアイテムからデザイン性の高いアイテムまで、さまざまなデザイン、シルエットを自由に表現できる知識・技術を身に付ける。												
授業内容												
スカート・ブラウス・ワンピースの平面製図の基礎知識をもとに工業用パターンまでの過程を学び、各アイテムの基礎と応用を実践する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	パターンメイキング基礎					各部名称・採寸の仕方・定規の使い方					
2	4	スカート					スカート原型の成り立ちと製図法・セミタイトスカート製図法					
3	8	スカート					フレアスカート・ギャザースカート・ヨーク切り替えスカート製図法					
4	4	スカート					スカート工業用パターン・裁断方法の説明					
5	4	スカート					スカート組立て演習					
6	10	応用スカート					各自のデザインによる応用パターン作成・トワール作成					
7	17	応用スカート					修正・分析・再組立て					
8	8	応用スカート					完成パターン・工業用パターン					
9	8	身頃					ストレートスローパー・タイトスローパー製図法					
10	4	ブラウス					シャツカラーブラウス製図法					
11	4	ブラウス					シェイプドブラウス製図法					
12	4	ブラウス					台衿付きシャツ製図法					
13	5	ブラウス					パネルラインブラウス製図法					
14	4	ブラウス					シャツカラーブラウス・台衿付きブラウス工業用パターン					
15	4	身頃					ストレートスローパー・シャツカラーブラウス組立て演習					
留意事項												
教材												
大阪文化服装学院 パターンメイキング(大阪文化服装学院 発行) 大阪文化服装学院 工業用パターンメイキング(大阪文化服装学院 発行)												
最終到達目標			学習法					評価方法及び評価割合				
スカート、ブラウスの基本製図方法を習得し、多種多様なデザインに対応できる応用力を身に付け実践し完成させる			講義 課題作成 実習 製作					提出物/期限厳守		40%		
								授業内実習トワール		30%		
								授業内実習パターン		25%		
								取組姿勢		5%		

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
D104	パターン理論・プロダクト演習 I							90				
担当教員	上等 峰子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手デザイナーブランド専属パタンナーとしてトワールチェック、仕様書作成、サンプルチェック等に幅広く携わり、東京コレクションで新ブランドの立ち上げに参加。授業では、パターンメイキングの基礎を基に、各アイテムのシルエット展開やディテールパターンの操作法をパターンメイキングからトワールの組み立てを繰り返しながら学ぶ。並行してドレーピング手法も習得する。										
講義目的												
衣服の構造を理解し、基本をしっかりと理解した上で、豊かなバリエーションのデザインを立体にできるパターンカ・ドレーピング力を身につける。												
授業内容												
パターンの基礎知識や組立て演習をもとに自分でデザインしたデザイン画のブラウス・ワンピースの応用で実践する パンツ平面製図の基礎知識をもとに工業用パターンを学び実践にいかせる												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	7	応用ブラウス					各自のデザインによる応用パターン作成・トワール作成					
2	8	応用ブラウス					修正・分析・再組立て					
3	3	応用ブラウス					完成パターン・工業用パターン					
4	4	ワンピース					シフト型ワンピース製図法					
5	4	ワンピース					ウエスト切り替えワンピース製図法					
6	4	ワンピース					プリンセスラインワンピース製図法					
7	4	ワンピース					ワンピース工業用					
8	10	応用ワンピース					各自のデザインによる応用パターン作成・トワール作成					
9	22	応用ワンピース					修正・分析・再組立て					
10	4	応用ワンピース					完成パターン・工業用パターン					
11	4	パンツ					スリムパンツ製図法					
12	4	パンツ					ニッカーボッカーパンツ製図法					
13	4	パンツ					ワイドパンツ製図法					
14	4	パンツ					ベルボトムパンツ製図法					
15	4	パンツ					パンツ工業用パターン					
留意事項												
教材												
大阪文化服装学院 パターンメイキング(大阪文化服装学院 発行) 大阪文化服装学院 工業用パターンメイキング(大阪文化服装学院 発行)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
パターンメイキングとトワール修正法を通してデザイン画に対してシルエット、ディテールの良否の判断が出来る様に感性を養う				講義 課題作成 実習 製作				授業内実習パターン2型		35%		
								授業内実習トワール2型		30%		
								提出物/期限厳守		30%		
								取組姿勢		5%		

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名								授業時間数			
D105	サンプルメイキング I								70			
担当教員	西田 千恵子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	オートクチュールのアトリエでパタンナー兼縫製職として従事。オペラや様々なイベントの衣裳制作に携わる。授業ではハンドメイドのテクニックを始め、基本的なアイテムからクリエイティブな作品まで、服作りに必要な知識と縫製技術を指導する。										
講義目的												
服作りの基礎となる縫製技術を学び、作品作りを通して服の構造を理解する。												
授業内容												
工業ミシン、ロックミシンを使用し、ファスナー付け、ベルト付け、ポケット付け、始末方法などの縫製技術やアイロンの扱い方を学び、スカート、パンツ、台衿付きシャツカラーを制作する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	ミシンについて					ミシンの構造と扱い方 縫い方練習					
2	2	ロックミシンについて					ロックミシンの構造と扱い方 縫い方練習					
3	6	セミタイトスカート（裏無し）					裁断、ロック、ダーツ縫い、パッチポケット					
4	6	セミタイトスカート（裏無し）					ファスナー付け、ベルト付け、裾始末、指図書					
5	5	ヨーク切替スカート（裏付き）					ロック、ヨーク、見返し縫い、裏地縫い					
6	5	ヨーク切替スカート（裏付き）					裏ファスナー付け、コンシールファスナー付け					
7	4	ヨーク切替スカート（裏付き）					スリット始末、裾始末、星止め					
8	6	バギーパンツ（裏無し）					ロック、シームポケット、脇切替ポケット					
9	6	バギーパンツ（裏無し）					ファスナー付け、ベルト付け、裾始末					
10	8	デザインスカート（トワール）					縫製①					
11	8	デザインスカート（トワール）					縫製②					
12	4	パンツ部分縫い（裏付き）					表パンツ縫い、裏パンツ縫い					
13	4	パンツ部分縫い（裏付き）					ファスナー付け（持出し付き）裏始末					
14	2	台衿付きシャツカラー					ロック、パッチポケット、ヨーク縫い					
15	2	台衿付きシャツカラー					ケンボロ明き					
留意事項												
教材												
大阪文化服装学院編「サンプルメイキング」(大阪文化服装学院 2013)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
スカート、パンツ、シャツの構造及び縫製工程を理解し、作品を制作する。				講義 課題作成				提出物／期日厳守		80%		
								取組姿勢		10%		
								習熟度(到達目標に対して)		10%		

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
D105	サンプルメイキング I							75				
担当教員	西田 千恵子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	オートクチュールのアトリエでパタンナー兼縫製職として従事。オペラや様々なイベントの衣裳制作に携わる。授業ではハンドメイドのテクニックを始め、基本的なアイテムからクリエイティブな作品まで、服作りに必要な知識と縫製技術を指導する。										
講義目的												
基本アイテムを習得し、オリジナルデザインのブラウス、ワンピースの制作を通して応用力を身につける。												
授業内容												
ブラウスの部分縫いでは、縫い代の始末方法や袖口の明き始末方法を学ぶ。 デザインブラウス、デザインワンピース（タオル、実物）のオリジナルデザインを3体制作する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	4	台衿付きシャツカラー					裾始末、前立て					
2	4	台衿付きシャツカラー					衿付け、カフス付け					
3	2	台衿付きシャツカラー					ボタンホール、ボタン付け、指図書					
4	5	ブラウス部分縫い					身頃縫い（袋縫い、片倒しロック）、衿作り					
5	5	ブラウス部分縫い					袖作り（スラッシュ明き、パイピング明き）					
6	8	デザインブラウス					縫製①					
7	8	デザインブラウス					縫製②					
8	8	デザインブラウス					縫製③					
9	5	デザインワンピース					縫製①					
10	5	デザインワンピース					縫製②					
11	5	デザインワンピース					縫製③					
12	4	デザインワンピース					縫製①					
13	4	デザインワンピース					縫製②					
14	4	デザインワンピース					縫製③					
15	4	デザインワンピース					縫製④					
留意事項												
教材												
大阪文化服装学院編「サンプルメイキング」(大阪文化服装学院 2013)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
デザインブラウス、デザインワンピース(タオル、実物)の3体を作り上げる事で、応用力を身につける。				講義 課題作成				提出物／期日厳守		80%		
								取組姿勢		10%		
								習熟度(到達目標に対して)		10%		

学科名	スーパーデザイナーデザイナー-学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
D106	素材知識 I							15				
担当教員	丸山 美幸				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレルのチーフデザイナーとして、婦人服の複数ブランドを担当をへて高級婦人服プリントの企画と配色に従事。市場調査や流行分析、ブランドの市場への定着に積極的に取り組む。授業では、素材の基礎知識を販売～企画に活かせるよう指導										
講義目的												
ファッション業界の重要な基礎知識である素材の知識を習得し、ビジネス・クリエイティブそれぞれの分野において実践で活用できる事												
授業内容												
素材の種類、糸、生地についての講義。 素材によるシルエットや着心地の変化、取扱い方の違いを理解。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	オリエンテーション					カリキュラム説明、素材や生地について					
2	1	基本導入					生地の基本・繊維の分類					
3	1	天然繊維①					植物繊維					
4	1	天然繊維②					動物繊維					
5	1	化学繊維①					再生繊維					
6	1	化学繊維②					半合成繊維					
7	1	化学繊維③					合成繊維					
8	1	糸について①					糸の種類・紡績糸					
9	1	糸について②					糸の撚りや番手					
10	1	糸について③					複合糸・意匠糸					
11	1	織物について①					織物の3原組織					
12	1	織物について②					織物の変化組織、その他織物					
13	1	編物について①					編物の3原組織					
14	1	編物について②					その他の編み物組織					
15	1	復習テスト					前期復習					
留意事項												
講義で習った素材は触って覚えること。 素材感を実感する習慣をつける。 製品品質表示や下げラベルを意識して見ることを習慣づける。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座1 改訂版・アパレル素材論」(文化服装学院) 関間正雄編「テキスタイル事典」(ナツメ社)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
素材の特性を理解し、素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明が出来るようになる。				講義 テスト				テスト		100%		

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名					
分類	必修	○	選択	配当学年	1	年	学期	前期	後期	○
講座コード	授業科目名						授業時間数			
D106	素材知識 I						7			
担当教員	丸山 美幸				科目区分	講義	○	演習		実習
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレルのチーフデザイナーとして、婦人服の複数ブランドを担当をへて高級婦人服プリントの企画と配色に従事。市場調査や流行分析、ブランドの市場への定着に積極的に取り組む。授業では、素材の基礎知識を販売～企画に活かせるよう指導								
講義目的										
ファッション業界の重要な基礎知識である素材の知識を習得し、ビジネス・クリエイティブそれぞれの分野において実践で活用できる事										
授業内容										
素材の種類、糸、生地についての講義。 素材によるシルエットや着心地の変化、取扱い方の違いを理解。										
授業計画及び学習課題										
項目	回数	内容				学習課題				
1	1	繊維製品取り扱い①				洗濯絵表示				
2	1	繊維製品取り扱い②				品質表示				
3	1	繊維製品取り扱い③				洗濯・クリーニング・洗剤				
4	1	繊維製品取り扱い④				保管・手入れ方法				
5	1	繊維製品取り扱い⑤				しみ抜き				
6	1	復習テスト				後期復習				
7	1	総復習テスト				1年生の総復習				
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
留意事項										
講義で習った素材は触って覚えること。 素材感を実感する習慣をつける。 製品品質表示や下げラベルを意識して見ることを習慣づける。										
教材										
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 1 改訂版・アパレル素材論」(文化服装学院) 関間正雄編「テキスタイ事典」(ナツメ社)										
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合		
素材の特性を理解し、素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明が出来るようになる。				講義 テスト				テスト		100%

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
D107	ファッションマーケティング							15				
担当教員	上山 恵加				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	イタリアの服飾専門学校で学び、その後アシスタントとしてミラノコレクションに参加。その後日本のアパレルデザイナー職を経て教員に就任。アパレル業界で必要な知識を様々な視点からリサーチし、習得につなげていく。										
講義目的												
アパレル業界基礎となるトレンド、ファッション感性、オケージョンの知識を学び、またマーケットリサーチを通し市場の流れを理解する。												
授業内容												
トレンドの分析方法やファッション感性の種類、オケージョンの知識を身につける。 また市場をリサーチすることで、実際の流行やブランドのテイスト、ターゲット層などを理解させる。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	マーケットリサーチについて					授業内容についての説明					
2	2	最新トレンド情報					パワーポイントを使い今期のトレンドについて講義					
3	2	トレンド分析					トレンドを1つに絞り分析、マップ作成					
4	2	ファッション感性8分類について					パワーポイントを使い各感性について講義					
5	2	ファッション感性8分類まとめ					各感性についてマップを作成、まとめ					
6	2	マーケットリサーチ結果分析					リサーチ結果をプリントにまとめる					
7	2	オケージョンマップ作成					オケージョンについて講義、MAP作成					
8	1	まとめ					これまでの総括					
留意事項												
各項目講義を実施し、マップを作成し知識を応用させる。 欠席した場合は次回の授業までに課題を終わらせておくことが必須。												
教材												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
アパレル業界で必要な知識を身につけ、マップにまとめることで応用力を身につける。				各項目講義を実施。 その知識を応用させ各項目マップにまとめ提出。				取組姿勢		30%		
								提出物/期限遵守		40%		
								習熟度(到達目標に対して)		30%		

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名								授業時間数			
	ファッションカラー								15			
担当教員	西山 マキ				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	チラシ・パンフレットの作成。カラーセラピーを通して舞台美術・衣裳のデザインや制作、カラーコーディネートを行っている。										
講義目的												
<ul style="list-style-type: none"> ・色を細分化し具体的に学ぶことで、色の性質を学習する。 ・色彩学の基礎を習得し、活用する知識を身につける。 												
授業内容												
<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の働き、色の三属性、対比現象などを学習し、色の役割や効果を理解する。 ・カラーカードを活用したワークや課題制作で体験的に色を感じる能力を身につける。 												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	STEP1 色彩の役割①					・オリエン ・個人の表現など ・色相環貼付け					
2	1	STEP1 色彩の役割②					・時代の表現など ・明度彩度表貼り付け ・色相環					
3	1	STEP2 色の表し方①					・色の三属性と分類 ・トーン表					
4	1	STEP2 色の表し方②					・色立体 ・トーンの明度 ・彩度貼付け					
5	1	STEP2 色の表し方③					・色相&トーンのイメージ					
6	1	照明と色の見え方					・光と色との関係 ・色名					
7	1	課題制作①					・アイテムの検索、収集 ・完成・提出					
8	1	課題制作②					・アイテムの検索、収集 ・完成・提出					
9	1	STEP3 色の見え方とイメージ①					・色の対比など					
10	1	STEP3 色の見え方とイメージ②					・色の同化現象など					
11	1	STEP3 色の見え方とイメージ③					・色の視認性など					
12	1	STEP3 色の見え方とイメージ④					・色のイメージ（色相） ・心理的効果					
13	1	STEP3 色の見え方とイメージ⑤					・色のイメージ（トーン） ・心理的効果					
14	1	STEP3 色の見え方とイメージ⑥					・色のイメージとカラー配色					
15	1	まとめ					・前期の復習					
留意事項												
<ul style="list-style-type: none"> ・課題制作では動画を見ながら別端末での制作なのでスマートフォンやタブレット、パソコンを別で用意してください。無い場合は紙を用意して制作しても大丈夫です。 												
教材												
日本色研事業株式会社「ファッション&ビューティーの色彩」 新配色カード(199a)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
ファッション業界に役立つ色彩効果をプランニングし活用できるようにする。				講義 テスト				テスト		100%		

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
	ファッションカラー							15				
担当教員	西山 マキ				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	チラシ・パンフレットの作成。カラーセラピーを通して舞台美術・衣裳のデザインや制作、カラーコーディネートを行っている。										
講義目的												
<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の役割と配色技法を理解し、プランニングに活用する。 ・パーソナルカラーや心理的效果を現場実習で活用する。 												
授業内容												
<ul style="list-style-type: none"> ・配色を中心とした色彩効果を、スタイリング分析で理解する。 ・パーソナルカラーや色の心理を通して、色彩の役割を学習する。 												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	STEP4 配色の基本①					・配色における色相の関係					
2	1	STEP4 配色の基本②					・配色におけるトーンの関係					
3	1	STEP4 配色の基本③					・配色と面積					
4	1	STEP4 配色の基本④					・ファッション配色技法1					
5	1	STEP4 配色の基本⑤					・ファッション配色技法2					
6	1	STEP4 配色の基本⑥					・ファッション配色技法3					
7	1	STEP4 配色の基本⑦					・ファッション配色技法4					
8	1	課題制作					・アイテムの検索、収集 ・完成・提出					
9	1	ファッショントレンド					・流行色 ・トレンドの流れ					
10	1	戦後のファッションと美容					・ファッションと美容の歴史					
11	1	パーソナルカラー①					・似合う色とは					
12	1	パーソナルカラー②					・フォーシーズン分類					
13	1	色彩心理					・色の心理効果、感情効果					
14	1	色の役割					・消費者が選択する色 ・生活と色彩					
15	1	まとめ					・1年間の総括					
留意事項												
課題制作では実際に自分が持っているアイテムを使用します。												
教材												
日本色研事業株式会社「ファッション&ビューティーの色彩」 新配色カード(199a)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
配色技法や色彩の役割を学び、ファッションに活かしていく。 色彩検定3級合格を目指す。				講義 テスト				テスト		100%		

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
D109	西洋服装史							15				
担当教員	筒井 直子				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	西洋服飾の研究機関にて学芸員として20年以上勤務。その知識と経験をもとに、西洋服装の歴史並びに実物の詳細を解説する										
講義目的												
西洋服装の基礎知識を学び、時代地域、社会、芸術との関わりを知る。												
授業内容												
古代から現代までの西洋の服飾について、絵画、写真、雑誌、映画などを参照しながら歴史をたどる。その中で基本的な事象や用語を踏まえつつ、衣服自体の構造や構成についても言及していく。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	イントロダクション					歴史衣装を学ぶことの意義とその活用について					
2	1	古代					古代メソポタミア～古代ローマの服装を理解する					
3	1	中世					中世の服装の変遷を理解する					
4	1	16世紀					スペイン、イギリスを中心とする服装の特徴を理解する					
5	1	17世紀					オランダを中心とする服装の特徴を理解する					
6	1	18世紀①					フランスの社会構造と服装の関連を理解する					
7	1	18世紀②					フランス宮廷における服装の実物遺品の詳細を学ぶ					
8	1	19世紀①					市民社会の社会構造と服装の関連を理解する					
9	1	19世紀②					ファッション産業に関する諸事情について理解する					
10	1	19世紀③					19世紀の服装の実物遺品の詳細を学ぶ					
11	1	下着の歴史					主に 18世紀から 19世紀の下着の種口と構造を学ぶ					
12	1	20 世紀前期					デザイナーの活躍と社会的背景について理解する					
13	1	20 世紀中期					オートクチュール全盛期の服装について学ぶ					
14	1	20 世紀後期					プレタポルテが牽引する服装について学ぶ					
15	1	現代とこれまでの総括					歴史を振り返りその活かし方を学ぶ					
留意事項												
授業の中で紹介するサイトや書籍、映画等に出来る限り目を通す事												
教材												
ポータルPDFを添付(深井晃子監修『世界服飾史』(美術出版社)や筒井直子監修『服をめぐる』など)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
服装の時代的な変遷を理解し、その社会や時代背景を関連付ける。また、その知識をデザインやコーディネートに反映する				授業動画を繰り返し視聴し、用語や事象を復習する。また、西洋絵画や文化に関する書籍や展覧会に触れる事でより理解を深めることができる				提出物		100%		

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名								
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期		
講座コード	授業科目名							授業時間数					
	Introduction to fashion design ファッションデザイン入門							15					
担当教員	Oleg Mitrofanov (オレグ・ミトロファンフ)				科目区分	講義	○	演習		実習			
実務経験のある教員等による授業科目	○	2014年より、LCF、CSMを含む6つのカレッジで構成される国立ロンドン芸術大学で教鞭を採る。CSMのファッションコミュニケーション&プロモーション学士課程・責任者を務めた経歴を持つ、欧州の第一線でファッション教育を行う現役指導者。また、専門分野「ビジュアルリサーチ」と「クリエイティブコンサルティング」においては、「アルマーニ」各種ライン、「シャネルビューティー」、「ワールド オブ インテリアズ」誌、パリ装飾芸術美術館の「ルイ・ヴィトン ー マーク・ジェイコブス展」などの業務に携わるほか、ジュエリーブランドでブランドマネージャーも歴任。多彩な経歴と才能を持つ。											
講義目的													
ファッションデザインにおける重要な歴史とリサーチ方法を学ぶことでデザイン発想の幅を広げる。													
授業内容													
西洋のファッションデザインの歴史を学び、リサーチ方法を研究し様々な切り口でデザインに向けてのワークショップを行う。													
授業計画及び学習課題													
項目	回数	内容					学習課題						
1	2	ファッションデザインとは？					ファッションデザインについての講義説明						
2	2	西洋の歴史について					ファッションと西洋の歴史についての講義説明						
3	2	リサーチワークショップ					リサーチの手法説明とワークショップ						
4	3	リサーチ研究①					様々なリサーチの研究を行う。						
5	3	リサーチ研究②・フィードバック					一人一人にリサーチ結果のフィードバックを行う。						
6	3	プレゼンテーション・フィードバック					リサーチ結果をプレゼンテーション						
留意事項													
出席を重視し、欠席した場合は次回の授業までに課題を終わらせておくことが必須。													
教材													
最終到達目標													
学習法													
評価方法及び評価割合													
様々なリサーチ方法を学ぶことでよりデザイン発想の幅を広げ、さまざまな切り口からデザインテーマを引き出すことができるようになる。				様々なリサーチ方法を学び、研究することでよりリサーチの重要性を知りデザインに落とし込んでいく。				取組姿勢			30%		
								提出物/期限遵守			40%		
								習熟度(到達目標に対して)			30%		

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
D112	トレンド I							8				
担当教員	上山 恵加				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	イタリアの服飾専門学校で学び、その後アシスタントとしてミラノコレクションに参加。その後日本のアパレルデザイナー職を経て教員に就任。アパレル業界で必要な知識を様々な視点からリサーチし、習得につなげていく。										
講義目的												
デザインの基礎となるファッショントレンドについて学び、過去の流行から現在の流行の流れを理解させる。またその知識を用いデザインに応用する力を身につける。												
授業内容												
映像やファッション雑誌などからトレンドの分析方法、流行の生まれ方や時代の流れについて学ぶ。また実際のデザイナーを通し、どのようにトレンドが作られていくのかを理解する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	トレンドについて					授業内容についての説明					
2	1	最新トレンド情報					パワーポイントを使い今期のトレンドについて講義					
3	1	トレンド分析					メジャーブランドのコレクションからトレンドマップを作成					
4	1	トレンド分析まとめ					各都市での傾向をグループごとにまとめる					
5	1	DVD鑑賞					トレンドの活用や発信方法を理解する					
6	1	新しいシーズンのトレンド予想を立てる					市場調査を通し、トレンドを予測					
7	1	新トレンドまとめ					新トレンドをマップにまとめる					
8	1	新トレンドまとめ					新トレンドをマップにまとめる					
留意事項												
各項目講義を実施し、マップを作成し知識を応用させる。 欠席した場合は次回の授業までに課題を終わらせておくことが必須。												
教材												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
デザイナーとして必要なトレンドの知識を身につけ、マップにまとめることで理解を深めデザインへの応用力を身につける。				各項目講義を実施。 その知識を応用させ各項目マップにまとめ提出。				取組姿勢		30%		
								提出物/期限遵守		40%		
								習熟度(到達目標に対して)		30%		

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
D113	ブランド知識 I							8				
担当教員	上山 恵加				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	イタリアの服飾専門学校で学び、その後アシスタントとしてミラノコレクションに参加。その後日本のアパレルデザイナー職を経て教員に就任。アパレル業界で必要な知識を様々な視点からリサーチし、習得につなげていく。										
講義目的												
コレクションでメジャーなブランドを中心に、その歴史やデザイナーなどの知識を深める。またブランドコンセプトを調べ各シーズンのコンセプトのつながりなどを理解する。												
授業内容												
メジャーなブランドの傾向をまとめ、知識を広げる。また動画やファッションニュースなどから、ブランド毎の特徴やコンセプトなどを理解し、どのように世界観が作られているか成り立ちを理解する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	ブランドについて					授業内容についての説明					
2	1	ファッションニュースからブランドを知る					コレクションでメジャーなブランドを調べる					
3	1	ブランド分析					ブランドの歴史やデザイナーをまとめる					
4	1	ブランドの成り立ちについて					1つのブランドを選び、詳しく調べる					
5	1	ブランドの特徴を理解する					選んだブランドのコレクションの特徴を知る					
6	1	ブランドのマップを作成する					リサーチした結果をマップにまとめる					
7	1	ブランド、デザイナー資料のリサーチ					ブランドの考え方を理解する					
8	1	まとめ					これまでの総括					
留意事項												
各項目講義を実施し、マップを作成し知識を応用させる。 欠席した場合は次回の授業までに課題を終わらせておくことが必須。												
教材												
最終到達目標												
学習法												
評価方法及び評価割合												
ブランドの特徴や考えかたなど、デザイナーに必要な知識を身につけ、マップにまとめる。				各項目講義を実施。その知識を応用させ各項目マップにまとめ提出。				取組姿勢			30%	
								提出物/期限遵守			40%	
								習熟度(到達目標に対して)			30%	

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名								
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期		
講座コード	授業科目名							授業時間数					
D114	ビジネスコミュニケーション I							15					
担当教員	上等 峰子				科目区分	講義		演習	○	実習			
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手デザイナーブランド専属パタンナーとしてトワールチェック、仕様書作成、サンプルチェック等に幅広く携わり、東京コレクションで新ブランドの立ち上げに参加。											
講義目的													
ファッションビジネスの現場において求められる社会人基礎能力を身につけるための講義・実践を通して理解、習得する。													
コミュニケーション力・プレゼンテーション力を向上させるためグループワークを行う。 アパレル企業の仕組みを理解させ就職への意識を高める。													
授業計画及び学習課題													
項目	回数	内容					学習課題						
1	1	オリエンテーション					授業の進め方・学校生活について						
2	2	自己紹介・自己分析					1人1人自己紹介						
3	2	talk personally(面談)					面談にて自分の意見を伝える大切さを学ぶ						
4	2	グループワーク①					グループディスカッション						
5	2	グループワーク②					グループディスカッション						
6	3	プレゼンテーション①					個人作品のプレゼンテーション						
7	3	プレゼンテーション②					個人作品のプレゼンテーション						
留意事項													
学生同士でのコミュニケーションを繰り返し意思疎通・情報共有を活性化させる。													
教材													
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合					
コミュニケーション・プレゼンテーション力をつける。				講義・グループワーク・実習				定期課題	100%				

学科名	スーパーデザイナー学科				コース名																																							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○																																
講座コード	授業科目名							授業時間数																																				
D114	ビジネスコミュニケーション I							15																																				
担当教員	上等 峰子				科目区分	講義		演習	○	実習																																		
実務経験のある教員等による授業科目	<p>大手デザイナーブランド専属パタンナーとしてトワールチェック、仕様書作成、サンプルチェック等に幅広く携わり、東京コレクションで新ブランドの立ち上げに参加。授業では、パターンメイキングの基礎を基に、各アイテムのシルエット展開やディテールパターンの操作法をパターンメイキングからトワールの組み立てを繰り返しながら学ぶ。並行してドレーピング手法も習得する。</p>																																											
講義目的	<p>ファッションビジネスの現場において求められる社会人基礎能力を身につけるための講義・実践を通して理解、習得する。</p> <p>コミュニケーション力・プレゼンテーション力を向上させるためグループワークを行う。アパレル企業の仕組みを理解させ就職への意識を高める。</p>																																											
授業計画及び学習課題	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>回数</th> <th>内容</th> <th>学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>自己分析(面談)</td> <td>前期の学びについて振り返り、分析を行う</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>3</td> <td>グループワーク③</td> <td>進路について お互いの考えを交換することで自分を見直す</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>グループワーク④</td> <td>進路について お互いの考えを交換することで自分を見直す</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>2</td> <td>プレゼンテーション③</td> <td>個人作品のプレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>2</td> <td>プレゼンテーション④</td> <td>個人作品のプレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>2</td> <td>グループディスカッション</td> <td>1年間の振り返り</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>2</td> <td>まとめ</td> <td>1年間の振り返りとまとめ</td> </tr> </tbody> </table>												項目	回数	内容	学習課題	1	1	自己分析(面談)	前期の学びについて振り返り、分析を行う	2	3	グループワーク③	進路について お互いの考えを交換することで自分を見直す	3	3	グループワーク④	進路について お互いの考えを交換することで自分を見直す	4	2	プレゼンテーション③	個人作品のプレゼンテーション	5	2	プレゼンテーション④	個人作品のプレゼンテーション	6	2	グループディスカッション	1年間の振り返り	7	2	まとめ	1年間の振り返りとまとめ
項目	回数	内容	学習課題																																									
1	1	自己分析(面談)	前期の学びについて振り返り、分析を行う																																									
2	3	グループワーク③	進路について お互いの考えを交換することで自分を見直す																																									
3	3	グループワーク④	進路について お互いの考えを交換することで自分を見直す																																									
4	2	プレゼンテーション③	個人作品のプレゼンテーション																																									
5	2	プレゼンテーション④	個人作品のプレゼンテーション																																									
6	2	グループディスカッション	1年間の振り返り																																									
7	2	まとめ	1年間の振り返りとまとめ																																									
留意事項	<p>学生同士でのコミュニケーションを繰り返し意思疎通・情報共有を活性化させる。</p>																																											
教材																																												
最終到達目標	学習法				評価方法及び評価割合																																							
コミュニケーション・プレゼンテーション力をつける。	講義・グループワーク・実習				定期課題				100%																																			